



平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月10日

上場会社名 日本甜菜製糖株式会社

上場取引所 東

コード番号 2108 URL <http://www.nitten.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 憲治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 八巻 唯史

TEL 03-6414-5522

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	13,985	1.6	1,042	26.0	1,284	22.7	873	24.6
29年3月期第1四半期	14,216	4.4	827	76.1	1,047	65.1	700	78.1

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 917百万円 (54.6%) 29年3月期第1四半期 2,021百万円 (15.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	61.73	
29年3月期第1四半期	49.61	

(注) 平成28年10月1日を効力発生日として、普通株式10株を1株とする株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	94,165	69,038	73.3	4,880.48
29年3月期	98,946	68,817	69.5	4,866.59

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 69,038百万円 29年3月期 68,817百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期				50.00	50.00
30年3月期					
30年3月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	28,000	3.2	1,200	8.7	1,400	9.9	1,000	31.9	70.71
通期	58,500	0.6	1,600	26.6	1,800	28.5	1,200	20.7	84.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 連結業績予想の修正につきましては、本日(平成29年8月10日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期1Q	15,325,642 株	29年3月期	15,325,642 株
----------	--------------	--------	--------------

期末自己株式数

30年3月期1Q	1,179,723 株	29年3月期	1,184,935 株
----------	-------------	--------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期1Q	14,142,613 株	29年3月期1Q	14,122,874 株
----------	--------------	----------	--------------

(注)1. 自己株式には、日本マスタートラスト信託銀行株式会社(従業員持株E S O P信託口)の所有する当社株式が含まれております。

2. 平成28年10月1日を効力発生日として、普通株式10株を1株とする株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成29年4月1日~平成29年6月30日)におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が続き、緩やかな回復基調となりましたが、米国の政策不透明感や世界的な地政学的リスクの高まりなどもあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

砂糖業界におきましては、少子高齢化や消費者の低甘味嗜好に加え、安価な輸入加糖調製品や高甘味度人工甘味料の増加などから砂糖消費量は減少傾向にあり、厳しい状況が依然として続いております。

このような状況のもと、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比1.6%減の13,985百万円となりましたが、経常利益は、砂糖事業の増益等もあり前年同期比22.7%増の1,284百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比24.6%増の873百万円となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

<砂糖事業>

砂糖セグメントの売上高は、ビート糖の販売数量の減少等により前年同期比4.0%減の9,933百万円となりましたが、セグメント利益は、コスト削減と営業努力等により、前年同期比42.1%増の689百万円となりました。

<食品事業>

食品セグメントの売上高は、ほぼ前年同期並の709百万円となりましたが、セグメント利益はイースト等の製造原価の増加等により前年同期比32.7%減の65百万円となりました。

<飼料事業>

飼料セグメントの売上高は、ほぼ前年同期並の1,860百万円となり、10百万円のセグメント損失(前年同期は20百万円のセグメント損失)となりました。

<農業資材事業>

農業資材セグメントの売上高は、そ菜用の紙筒(移植栽培用育苗鉢)の売上増加等により、前年同期比11.2%増の787百万円となり、セグメント利益は前年同期比80.6%増の82百万円となりました。

<不動産事業>

不動産セグメントの売上高は、前年同期比2.3%増の348百万円となり、セグメント利益は前年同期比2.1%増の230百万円となりました。

<その他>

その他のセグメントの売上高は、石油類の売上増加等により前年同期比25.9%増の345百万円となりましたが、48百万円のセグメント損失(前年同期は50百万円のセグメント損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比4,780百万円減の94,165百万円で、このうち流動資産は、主にたな卸資産の減少により前連結会計年度末比5,055百万円減の42,815百万円となり、固定資産は、前連結会計年度末比274百万円増の51,350百万円となりました。

一方、負債の合計は、前連結会計年度末比5,002百万円減の25,126百万円で、このうち流動負債は、主に短期借入金の減少により前連結会計年度末比5,005百万円減の12,033百万円となり、固定負債は、前連結会計年度末比3百万円増の13,092百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末比221百万円増の69,038百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、平成29年5月12日に公表いたしました平成30年3月期第2四半期(累計)連結・個別業績予想を修正しております。なお、通期の連結・個別業績予想につきましては、変更しておりません。詳細につきましては、本日(平成29年8月10日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,182	6,356
受取手形及び売掛金	6,825	6,683
有価証券	10,000	7,500
商品及び製品	22,315	15,589
仕掛品	619	183
原材料及び貯蔵品	2,396	2,674
その他	1,532	3,830
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	47,870	42,815
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,922	10,805
その他(純額)	11,821	11,905
有形固定資産合計	22,744	22,710
無形固定資産		
	113	108
投資その他の資産		
投資有価証券	27,001	27,071
退職給付に係る資産	985	1,013
その他	236	450
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	28,217	28,530
固定資産合計	51,075	51,350
資産合計	98,946	94,165
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	958	1,266
短期借入金	9,798	3,996
未払法人税等	401	429
災害損失引当金	199	152
その他	5,682	6,189
流動負債合計	17,039	12,033
固定負債		
長期借入金	227	196
役員退職慰労引当金	11	12
退職給付に係る負債	4,819	4,876
その他	8,030	8,006
固定負債合計	13,089	13,092
負債合計	30,129	25,126

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,279	8,279
資本剰余金	8,404	8,404
利益剰余金	41,392	41,559
自己株式	△2,455	△2,445
株主資本合計	55,620	55,798
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,085	13,123
繰延ヘッジ損益	△1	1
退職給付に係る調整累計額	112	115
その他の包括利益累計額合計	13,196	13,240
純資産合計	68,817	69,038
負債純資産合計	98,946	94,165

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	14,216	13,985
売上原価	10,043	9,808
売上総利益	4,172	4,177
販売費及び一般管理費		
販売費	2,587	2,380
一般管理費	757	753
販売費及び一般管理費合計	3,344	3,134
営業利益	827	1,042
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	230	245
持分法による投資利益	11	14
その他	24	33
営業外収益合計	268	294
営業外費用		
支払利息	26	24
固定資産処分損	16	21
その他	5	6
営業外費用合計	48	52
経常利益	1,047	1,284
特別利益		
固定資産売却益	-	2
特別利益合計	-	2
特別損失		
固定資産処分損	6	11
その他	0	-
特別損失合計	7	11
税金等調整前四半期純利益	1,039	1,275
法人税等	339	402
四半期純利益	700	873
親会社株主に帰属する四半期純利益	700	873

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	700	873
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,308	37
繰延ヘッジ損益	△0	3
退職給付に係る調整額	13	2
その他の包括利益合計	1,321	44
四半期包括利益	2,021	917
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,021	917
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

原価差異の繰延処理

操業度等の季節的な変動に起因して発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産（その他）及び流動負債（その他）として繰延べております。

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間（自平成28年4月1日至平成28年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	砂糖	食品	飼料	農業資材	不動産	計		
売上高								
外部顧客への売上高	10,348	707	1,836	708	340	13,942	274	14,216
セグメント間の内部 売上高又は振替高	47	8	3	37	28	125	1,465	1,591
計	10,396	715	1,840	745	368	14,067	1,739	15,807
セグメント利益 又は損失()	485	96	20	45	226	833	50	783

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、貨物輸送、石油類の販売及びスポーツ施設・書店の営業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	833
「その他」の区分の利益又は損失()	50
セグメント間取引消去	44
その他の調整額	0
四半期連結損益計算書の営業利益	827

当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	砂糖	食品	飼料	農業資材	不動産	計		
売上高								
外部顧客への売上高	9,933	709	1,860	787	348	13,640	345	13,985
セグメント間の内部 売上高又は振替高	44	6	4	16	28	100	941	1,041
計	9,978	716	1,864	803	376	13,740	1,286	15,026
セグメント利益 又は損失()	689	65	10	82	230	1,057	48	1,008

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、貨物輸送、石油類の販売及びスポーツ施設・書店の営業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,057
「その他」の区分の利益又は損失()	48
セグメント間取引消去	33
その他の調整額	0
四半期連結損益計算書の営業利益	1,042